



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年8月10日

上場会社名 株式会社 カブコン (コード番号：9697 東証・大証第1部)
 (URL <http://www.capcom.co.jp/>)
 代表者 役職名 代表取締役社長 辻本 憲三
 問合せ先責任者 役職名 取締役 常務執行役員 阿部 和彦 TEL (06)6920-3605

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容) ・ 法人税等の計算等について、法定実効税率をベースとした簡便な方法を採用しております。
 ・ 引当金の計上基準等について、簡便な方法を採用しております。
 ・ その他、影響額の僅少なものにつき、一部簡便な手続きを採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結および持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 連結(新規) 1社 (除外) 0社 持分法(新規) 0社 (除外) 0社

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	10,571	7.5	1,320	48.0	1,404	30.9	808	32.9
18年3月期第1四半期	11,431	4.1	891	24.1	1,073	16.3	608	19.5
(参考) 18年3月期	70,253		6,580		7,016		6,941	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	14.81	11.24
18年3月期第1四半期	11.07	8.26
(参考) 18年3月期	125.19	93.49

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済は、長引く原油高や株価の低迷がありましたが、堅調な設備投資や個人消費に支えられ、景気回復は鮮明になってまいりました。

当業界におきましては、家庭用ゲーム市場では携帯型ゲーム機が好調に推移いたしましたものの、ハードの移行期による需要の一巡や次世代据置型ゲーム機の本格的な登場を控え、踊り場状態となりました。

一方、オンラインゲーム市場はネット対応の携帯型ゲーム機の普及なども手伝って、着実に拡大してまいりました。

また、海外は北米市場がハード価格の値下げ効果等もあって、全体として順調に推移いたしました。

アミューズメント施設市場は店舗の大型化が進むとともに、カードゲームが盛り上がったことなどにより、おおむね回復基調を持続いたしました。

こうした状況のもと、当社グループは機動的な開発展開や販促イベント、アミューズメント施設の積極的な出店戦略を推し進めてまいりました。

さらに、多面的なコンテンツビジネス展開を図るため、携帯型音楽端末として人気の高いiPodに各種の音楽を提供するiTunes Music Store向けにゲーム音楽の配信を開始したほか、携帯電話向けゲーム配信事業を強化するため、米国子会社を通じてカナダのモバイルゲーム開発会社コズミック・インフィニティー社の株式を取得し、完全子会社といたしました。

この結果、当第1四半期の連結業績は、売上高105億71百万円(前年同期比7.5%減)と減収になりましたが、売上原価の減少により営業利益13億20百万円(前年同期比48.0%増)、経常利益14億4百万円(前年同期比30.9%増)、四半期純利益8億8百万円(前年同期比32.9%増)となりました。

事業の種類別セグメントの状況

コンシューマ用ゲームソフト事業

当事業におきましては、小型タイトルや他社との提携ソフトが大半を占めましたため、売上を押し上げることはできませんでした。一方、和のテイストを追及した新機軸ソフトの「大神」（プレイステーション2用）や「ロックマン ゼクス」（ニンテンドーDS用）が健闘するとともに、前期のヒット作品「モンスターハンター ポータブル」（プレイステーション・ポータブル用）が続伸したことにより収益に寄与したほか、海外で販売いたしました「ロックマン エグゼ6」（ゲームボーイアドバンス用）も順調に伸びました。

この結果、売上高は45億29百万円（前年同期比13.1%減）、営業利益8億20百万円（前年同期比1,717.6%増）となりました。

アミューズメント施設運営事業

当事業におきましては、ファン感謝イベントの開催や多様な顧客ニーズに即応した人気ゲーム機の投入に加え、既存店のリニューアルなど各種の活性化策により集客の向上に努めるとともに、意欲的なオペレーション展開を進め事業の拡大を図ってまいりました。

新規出店といたしましては首都圏での地盤を堅固とするため、千葉県に「プラサカブコン 千葉ニュータウン店」、「プラサカブコン 千葉長沼店」および「プラサカブコン マリンピア専門館店」の3店舗をオープンいたしました。

これにより、当施設は33店舗となっております。

この結果、売上高は28億91百万円（前年同期比14.4%増）、営業利益3億98百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

業務用機器販売事業

当事業におきましては、既存商品の販売が中心となりましたが、新商品の「機動戦士ガンダムSEED DESTINY 連合vs.Z.A.F.T.」が安定した人気に支えられ、販売拡大のけん引役を果たしました。

この結果、売上高は21億35百万円（前年同期比55.2%増）、営業利益4億79百万円（前年同期比354.3%増）となりました。

コンテンツエキスパンション事業

当事業におきましては、携帯電話向けゲーム配信事業において、有力タイトルの不在が響き、やや軟調に推移いたしました。

また、海外戦略強化の一環としてカナダのモバイルゲーム開発会社を買収し、完全子会社とするなど、成長余力のある北米市場で攻勢に転じてまいりました。

一方、パチンコ・パチスロ事業は、下期の本格的展開に向けた地均しの期間となりましたため、低調に終始いたしました。

この結果、売上高は5億7百万円（前年同期比72.5%減）、営業利益1億10百万円（前年同期比85.6%減）となりました。

その他事業

その他事業につきましては、主なものはキャラクター関連のライセンス事業で、売上高は5億15百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益1億49百万円（前年同期比25.7%減）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株 当 たり 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	95,867	37,610	39.2	701.26
18年3月期第1四半期	102,842	32,872	32.0	598.03
(参考) 18年3月期	98,457	39,464	40.1	716.91

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金および現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	62	2,882	2,388	35,098
18年3月期第1四半期	1,352	452	1,006	45,755
(参考) 18年3月期	13,921	1,779	18,259	40,652

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末における総資産は958億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億89百万円減少しました。また、純資産は376億10百万円となり、前連結会計年度末の資本の部に比べ18億53百万円減少しました。これらの主な要因は、自己株式の取得や配当金の支払ならびに四半期純利益の計上などによるものであります。この結果、自己資本比率は39.2%となりました。

当第1四半期における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の回収によるキャッシュの増加および法人税の支払等により、営業活動によるキャッシュ・フローは62百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得および投資有価証券の取得による支出を主因として、投資活動によるキャッシュ・フローは28億82百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

自己株式の取得や配当金の支払を行ったこと等により、財務活動によるキャッシュ・フローは23億88百万円の減少となりました。

以上の結果、当第1四半期末における現金および現金同等物は、前連結会計年度末に比べ55億54百万円減少し、350億98百万円となりました。

3. 平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

平成19年3月期の業績予想につきましては、おおむね予想どおりに推移しているため、平成18年5月23日決算発表時の業績予想を変更しておりません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

今後の見通しといたしましては、当業界は次世代据置型ゲーム機の年内揃い踏み控え、盟主の座を巡ってハードおよびソフトメーカーの覇権争いが激化することに加え、生き残りをかけて業界の垣根を越えた再編が進むことも予想され、大きな変革期を迎えるものと思われま

す。こうした環境のもと、当社グループは最大の需要期である年末商戦に向けて開発資源を集中するとともに、新奇性の高い商品の投入、販売体制やマーケティング戦略の強化に加え、趣向を凝らした集客展開により、顧客満足度のアップや競争力の優位性を確保し、業績の向上に努めてまいります。

また、事業領域の拡大を目指して、株式会社タカラトミーとキャラクター商品の開発、販売提携を行うなど、人気コンテンツを活用したコラボレーション戦略により新たな収益展開を図ってまいります。

加えて、業務の効率化、財務構造の改革や各種の提携戦略を推進するなど、経営環境の変化に対応できるよう、企業体質の強化に取り組んでまいります。

なお、金融商品取引法で平成21年3月期決算から開示を求められる事項につきましては、社内体制を整えるとともに、所要の作業に着手しました。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (平成18年3月31日)		当第1四半期 (平成18年6月30日)		増 減 額 (前連結会計年度比)	前第1四半期 (平成17年6月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
(資産の部)		%		%			%
流動資産							
1 現金および預金	40,453		34,898		5,554	44,756	
2 受取手形および売掛金	12,812		9,080		3,732	8,777	
3 有価証券	199		199		-	999	
4 たな卸資産	3,741		3,470		270	3,816	
5 ゲームソフト仕掛品	6,348		7,635		1,287	10,252	
6 繰延税金資産	3,266		3,320		54	4,081	
7 短期貸付金	1,277		1,261		15	1,282	
8 その他	1,272		5,300		4,027	2,442	
9 貸倒引当金	1,295		1,289		6	1,137	
流動資産合計	68,075	69.1	63,877	66.6	4,197	75,273	73.2
固定資産							
1 有形固定資産							
(1) 建物および構築物	6,366		6,282		83	6,594	
(2) 機械装置および運搬具	107		96		11	86	
(3) 工具器具備品	529		512		16	581	
(4) レンタル機器	199		448		248	103	
(5) アミューズメント施設機器	2,064		2,761		697	2,138	
(6) 土地	4,480		4,478		1	4,474	
(7) 建設仮勘定	73		2		71	-	
有形固定資産合計	13,820	14.0	14,582	15.2	762	13,978	13.6
2 無形固定資産							
(1) その他	333		260		73	599	
無形固定資産合計	333	0.4	260	0.3	73	599	0.6
3 投資その他の資産							
(1) 投資有価証券	2,305		3,612		1,306	1,699	
(2) 長期貸付金	807		807		-	857	
(3) 繰延税金資産	8,624		8,156		467	5,991	
(4) 破産債権更生債権等	107		107		-	108	
(5) その他	5,095		5,174		78	4,746	
(6) 貸倒引当金	712		711		0	411	
投資その他の資産合計	16,227	16.5	17,146	17.9	919	12,990	12.6
固定資産合計	30,381	30.9	31,989	33.4	1,607	27,569	26.8
資産合計	98,457	100.0	95,867	100.0	2,589	102,842	100.0

(単位：百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (平成18年3月31日)		当第1四半期 (平成18年6月30日)		増 減 額 (前連結会計年度 比)	前第1四半期 (平成17年6月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
(負債の部)		%		%			%
流動負債							
1 支払手形および買掛金	7,213		7,533		320	5,788	
2 短期借入金	700		700		-	4,542	
3 1年以内償還予定の 転換社債	10,000		10,000		-	12,262	
4 未払法人税等	2,196		65		2,130	179	
5 賞与引当金	1,062		404		657	433	
6 返品調整引当金	349		173		175	170	
7 その他	5,420		7,559		2,138	4,149	
流動負債合計	26,942	27.4	26,437	27.6	504	27,526	26.7
固定負債							
1 転換社債	15,000		15,000		-	25,000	
2 新株予約権付社債	11,500		11,500		-	11,500	
3 長期借入金	4,130		4,025		105	4,725	
4 退職給付引当金	816		847		31	756	
5 その他	604		446		157	461	
固定負債合計	32,050	32.5	31,819	33.2	230	42,442	41.3
負債合計	58,992	59.9	58,257	60.8	735	69,969	68.0
(資本の部)							
資本金	27,581	28.0	-	-	-	27,581	26.8
資本剰余金	15,336	15.6	-	-	-	15,336	14.9
利益剰余金	1,099	1.1	-	-	-	4,683	4.5
その他有価証券評価差額金	793	0.8	-	-	-	564	0.5
為替換算調整勘定	228	0.2	-	-	-	813	0.8
自己株式	5,117	5.2	-	-	-	5,112	4.9
資本合計	39,464	40.1	-	-	-	32,872	32.0
負債および資本合計	98,457	100.0	-	-	-	102,842	100.0
(純資産の部)							
株主資本							
1 資本金	-		27,581		-	-	
2 資本剰余金	-		15,336		-	-	
3 利益剰余金	-		1,299		-	-	
4 自己株式	-		6,801		-	-	
株主資本合計	-	-	37,415	39.0	-	-	-
評価・換算差額等							
1 その他有価証券評価差額金	-		677		-	-	
2 繰延ヘッジ損益	-		5		-	-	
3 為替換算調整勘定	-		487		-	-	
評価・換算差額等合計	-	-	195	0.2	-	-	-
純資産合計	-	-	37,610	39.2	-	-	-
負債および純資産合計	-	-	95,867	100.0	-	-	-

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期		当第1四半期		増減額 (前第1 四半期 比)	前連結会計年度	
	自平成17年4月1日 至平成17年6月30日		自平成18年4月1日 至平成18年6月30日			自平成17年4月1日 至平成18年3月31日	
	金額		金額			金額	
		%		%			%
売上高	11,431	100.0	10,571	100.0	860	70,253	100.0
売上原価	7,688	67.3	6,619	62.6	1,068	47,799	68.0
売上総利益	3,743	32.7	3,952	37.4	208	22,454	32.0
返品調整引当金繰入額	-	-	-	-	-	138	0.2
返品調整引当金戻入額	40	0.4	175	1.6	135	-	-
差引売上総利益	3,783	33.1	4,128	39.0	344	22,315	31.8
販売費および一般管理費	2,891	25.3	2,807	26.5	83	15,735	22.4
営業利益	891	7.8	1,320	12.5	428	6,580	9.4
営業外収益							
1 受取利息	109		143			507	
2 受取配当金	13		15			13	
3 為替差益	102		-			493	
4 その他	21	2.2	6	1.6	82	74	1.5
営業外費用							
1 支払利息	62		17			171	
2 為替差損	-		44			-	
3 貸倒引当金繰入額	-		-			317	
4 その他	3	0.6	18	0.8	14	165	0.9
経常利益	1,073	9.4	1,404	13.3	331	7,016	10.0
特別利益							
1 固定資産売却益	-		-			1	
2 償却債権取立益	-		-			114	0.1
特別損失							
1 固定資産除売却損	10		33			65	
2 役員退職慰労金	-		-			44	
3 投資有価証券評価損	-		-			63	
4 その他特別損失	-	0.1	-	0.3	22	47	0.3
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,062	9.3	1,371	13.0	308	6,912	9.8
法人税等	454	4.0	562	5.3	108	28	0.1
四半期(当期)純利益	608	5.3	808	7.7	200	6,941	9.9

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第1四半期	当第1四半期	増減額 (前第1 四半期 比)	前連結会計年度
	自平成17年4月1日 至平成17年6月30日 金額	自平成18年4月1日 至平成18年6月30日 金額		自平成17年4月1日 至平成18年3月31日 金額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
1 税金等調整前四半期(当期)純利益	1,062	1,371	308	6,912
2 減価償却費	442	505	63	1,936
3 貸倒引当金の増減額(減少)	6	4	11	458
4 受取利息および受取配当金	122	158	35	521
5 支払利息	62	17	44	171
6 売上債権の減少額	5,556	3,719	1,837	1,795
7 たな卸資産の減少額	103	263	159	193
8 ゲームソフト仕掛品の増減額(増加)	852	1,287	434	3,051
9 仕入債務の増減額(減少)	2,671	326	2,997	1,334
10 その他	1,757	2,952	1,194	1,746
小計	1,829	1,800	29	14,409
11 利息および配当金の受取額	127	147	20	513
12 利息の支払額	26	12	13	168
13 法人税等の支払額	578	1,998	1,420	832
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,352	62	1,415	13,921
投資活動によるキャッシュ・フロー				
1 有形固定資産の取得による支出	431	1,228	797	1,512
2 投資有価証券の取得による支出	2	1,484	1,481	61
3 その他	18	168	150	205
投資活動によるキャッシュ・フロー	452	2,882	2,429	1,779
財務活動によるキャッシュ・フロー				
1 短期借入金の返済による支出	350	-	350	4,193
2 長期借入金の返済による支出	105	105	-	700
3 転換社債の償還による支出	-	-	-	12,262
4 自己株式の売却による収入	0	0	0	0
5 自己株式の取得による支出	0	1,733	1,732	6
6 親会社による配当金の支払額	550	550	0	1,098
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,006	2,388	1,381	18,259
現金および現金同等物に係る換算差額	324	221	545	1,232
現金および現金同等物の増減額(減少)	217	5,554	5,772	4,885
現金および現金同等物の期首残高	45,538	40,652	4,885	45,538
現金および現金同等物の期末残高	45,755	35,098	10,657	40,652

4. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期(自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)

(単位:百万円)

	コンシューマ 用ゲーム ソフト事業	アミューズ メント施設 運営事業	業務用機器 販売事業	コンテンツ イキパシオン 事業	その他事業	計	消去 または全社	連結
売上高および営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,529	2,891	2,128	507	515	10,571	(-)	10,571
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	-	-	7	-	-	7	(7)	-
計	4,529	2,891	2,135	507	515	10,579	(7)	10,571
営業費用	3,709	2,492	1,656	397	365	8,620	630	9,251
営業利益	820	398	479	110	149	1,958	(638)	1,320

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品および事業内容

- (1) コンシューマ用ゲームソフト事業...家庭用ゲームソフトの開発・販売事業
- (2) アミューズメント施設運営事業.....アミューズメント施設の運営事業
- (3) 業務用機器販売事業.....業務用ゲーム機器、IC基板等の開発・製造・販売事業
- (4) コンテンツエキスパンション事業...携帯電話向けコンテンツの開発・配信および
液晶表示基板等の開発・製造・販売事業
- (5) その他事業.....ライセンス事業、その他

3 営業費用のうち、消去または全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は644百万円であり、その主なものは、管理部門に係る費用であります。

前第1四半期(自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)

(単位:百万円)

	コンシューマ 用ゲーム ソフト事業	アミューズ メント施設 運営事業	業務用機器 販売事業	コンテンツ イキパシオン 事業	その他事業	計	消去 または全社	連結
売上高および営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	5,212	2,526	1,366	1,843	483	11,431	(-)	11,431
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	-	-	10	-	-	10	(10)	-
計	5,212	2,526	1,376	1,843	483	11,441	(10)	11,431
営業費用	5,166	2,141	1,270	1,074	282	9,935	604	10,540
営業利益	45	384	105	769	201	1,506	(614)	891

(注) 営業費用のうち、消去または全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は616百万円であり、その主なものは、管理部門に係る費用であります。

前連結会計年度(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	コンシューマ 用ゲーム ソフト事業	アミューズ メント施設 運営事業	業務用機器 販売事業	コンテンツ イキパシオン 事業	その他事業	計	消去 または全社	連結
売上高および営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	42,718	11,568	6,956	5,742	3,268	70,253	(-)	70,253
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	-	-	39	-	-	39	(39)	-
計	42,718	11,568	6,995	5,742	3,268	70,292	(39)	70,253
営業費用	39,791	9,130	5,879	3,379	3,070	61,251	2,421	63,673
営業利益	2,926	2,438	1,116	2,362	197	9,041	(2,460)	6,580

(注) 営業費用のうち、消去または全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は2,484百万円であり、その主なものは、管理部門に係る費用であります。